



## 第2回かながわ教育学講座

暦の上では秋ですが、残暑が厳しい日が続いています。令和元年8月25日(日)、総合教育センターにおいて第2回かながわ教育学講座が開催されました。前半は大講堂で「神奈川県が求める教職員像」の講義、後半は各研修室に分かれてグループ活動が行われました。



### 講演「神奈川県が求める教職員像」

総合教育センター 戸田 崇 教育事業部長による講義では、まず、「かながわティーチャーズカレッジの意義と求められる教員の資質と能力について、『かながわ教育ビジョン』を通して理解を深めるとともに、受講者としての自覚を培う。」という講座のねらいを確認しました。



戸田 崇 教育事業部長

#### かながわ教育ビジョン

心ざらぬ しまりのな 人づくり

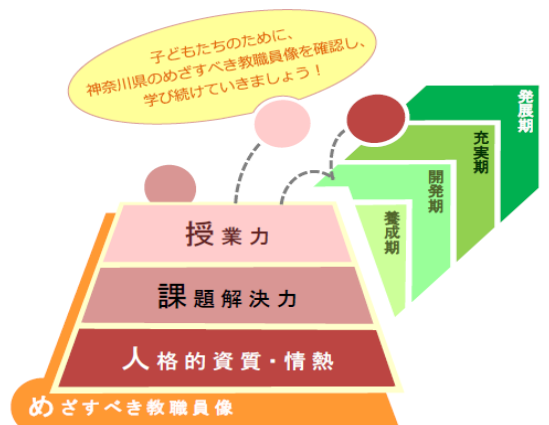


次に、「かながわ教育ビジョン」の基本理念・教育目標を踏まえながら、神奈川県が求めている教員の姿である「めざすべき教職員像」の「人格的資質・情熱」「課題解決力」「授業力」の3つの要素について説明がありました。

その中でも、今回は特に、「人格的資質・情熱」について取り上げ、その重要性について学びました。教職の本質は、単なる知識・技能の伝達にとどまらず、教育を受ける者の人格形成にも深く関わっています。受講者が教職に就いたときに、どのような姿勢で児童・生徒と向き合っていけばよいのかを考えることができたのではないのでしょうか。また、人格的資質・情熱は、教員になる前から磨けることを理解し、そのためには今何をすればよいかを考える機会になりました。

さらに、受講者に期待することとして、「かながわティーチャーズカレッジは、教員のライフステージでは養成期に位置付けられている。大学生活や日常の行動の中で、身に付けるべき資質や自身が持っている資質をさらに伸ばして行ってほしい。」と話がありました。

教育事業部長の経験を踏まえた熱いメッセージが込められた講義を受け、ティーチャーズカレッジを受講する意義、教員という仕事の在り方について改めて見直し、学びを深めていました。



## グループ活動



前半の講義の内容を踏まえ、グループごとに、今後の学びに対する目標を設定し、現在の自分の姿を見つめ、仲間と話し合いながら目指すべき教職員像について考えました。

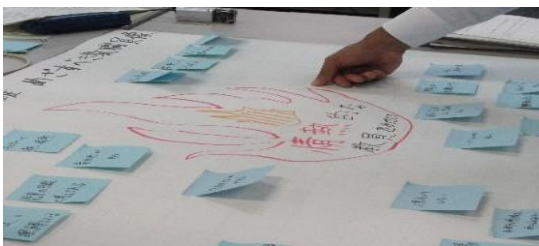
まずは、5～6人程度の班に分かれ、前回のグループ活動で考えた「子どもに身に付けたい（身に付けさせたい）力」を踏まえたうえで、「めざすべき教職員像」を付せんに書き出しました。一人ひとりが真剣に考えている姿から、教職への熱い思いを感じました。



### 教職員としての人格的資質・教職への情熱

- ① 豊かな人間性と社会性、高い対人関係能力とコミュニケーション能力を持っている。
- ② 子どもへの教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもっている。
- ③ 高い倫理観をもち、公平・公正に行動できる。
- ④ 変化に対応し、学び続ける向上心をもっている。

教職員人材確保・育成計画より



次に、出てきた意見を集約しまとめる活動をしました。一人ひとりが書いた付せんについて説明を付け加えながら、上記の「教職員としての人格的資質・教職への情熱」の4つの項目を参考に分類し、模造紙に張り付けていきました。その後、「めざすべき教職員像」に迫るために、「今できること」を話し合い、模造紙に書き込んでいきました。積極的に自分の考えを説明したり、人の意見をしっかりと聞き取りたい姿勢が見られました。



そして、各班でまとめた模造紙を使って、代表者または、全員で分担しながらグループ全体の場で発表をしました。自分と同じような考えだけでなく、異なる考えもあることも分かり、「今できること」についてさらに考えを深めているようでした。どの班も協力して丁寧に模造紙にまとめ、工夫して発表することができていました。また、発表の内容だけでなく、発表の仕方や模造紙へのまとめ方にも学びがあったことと思います。



最後に、まとめとして各グループ担当者からの話を聞き、講座の内容を振り返りました。「めざすべき教職員像」についてさらに深く考え、今「できること」を明確にし、「めざすべき教職員像」に近づくための目標を立てて終わることができました。



ワークシートには、講義・協議を通じて気付いたことや深まったことなどが、欄いっぱい書かれていて、今回の講座における受講者の学びの多さが伝わってきました。「めざすべき教職員像」に近づけるよう、今後の講座にさらに積極的に取り組んでほしいと思います。